

環境活動レポート 2021

期間：2021年4月～2022年3月



株式会社 関東マツダ

2022年 10月 29日

事業活動の概要

1. 事業所名及び代表者氏名

株式会社 関東マツダ
代表取締役社長 島田 寛昭

2. 所在地

東京都板橋区大山西町3-12

3. 事業内容

マツダブランドの乗用車・商用車の新車販売
中古自動車販売
部品・用品などの販売
自動車整備業
損害保険代理業 等

4. 事業の規模

1) 店舗数 120店舗(東京都49店舗、神奈川県12店舗、埼玉県45店舗、群馬県14店舗)

事業規模(2021年度)

従業員数(契約社員・パート含む)	2,287 名
年間売上高	1,042.8 億円
年間新車販売台数	27,923 台
年間中古車販売台数	7,003 台
年間整備在庫台数	602,160 台

5. 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 総務部長
小林 隆行

EA21推進事務局 サービス営業部 技術グループ 須川 睦
サービス営業部 技術グループ 田中 英明
サービス営業部 技術グループ 佐藤 雅英
総務部 CSR推進グループ 影山 智大

担当連絡先 総務部 CSR推進グループ 谷村 恵
e-mail: tanimura.sat@kanto-mazda.com
TEL : 03-3955-9524 FAX: 03-5995-7650

店舗一覧

株式会社関東マツダ

2022年4月現在

	店舗名	所在地	電話番号
東京都	墨田店	東京都墨田区立花5丁目1番8号	03-3612-7141
	足立竹の塚店	東京都足立区保木間1丁目20番2号	03-3884-5146
	一之江店	東京都江戸川区一之江3丁目25番1号	03-3656-5011
	新小岩店	東京都葛飾区東新小岩2丁目26番7号	03-3694-1456
	葛飾青戸店	東京都葛飾区青戸4丁目1番7号	03-3603-1511
	深川店	東京都江東区冬木21番25号	03-3641-0666
	水元店	東京都葛飾区水元1丁目1番20号	03-3600-6041
	小岩店	東京都江戸川区北小岩2丁目22番1号	03-3658-3181
	西新井店	東京都足立区堀之内2丁目15番地15号	03-3899-0101
	葛西店	東京都江戸川区中葛西8丁目11番10号	03-5878-3881
	花小金井店	東京都小平市花小金井3丁目13番8号	0424-68-1212
	板橋本店	東京都板橋区大山西町3-12	03-3973-8431
	秋津店	東京都東村山市秋津町2丁目21番1号	042-394-3677
	秋津ポディーセンター	東京都東村山市秋津町2丁目21番1号	042-397-3471
	高田馬場店	東京都新宿区高田馬場1丁目2番12号	03-3208-8561
	練馬豊島園店	東京都練馬区向山2丁目11番4号	03-3990-4371
	小平店	東京都小平市鈴木町1丁目47番2号	042-341-5511
	志村店	東京都板橋区東坂下2丁目16番2号	03-3966-2181
	武蔵野店	東京都西東京市新町5丁目12番12号	0422-36-1941
	国分寺店	東京都国分寺市西元町2丁目3番17号	042-322-4355
	大泉店	東京都練馬区大泉学園町2-20-35	03-3923-4557
	久米川店	東京都東村山市恩多町2丁目40番4号	042-395-7211
	大田店	東京都大田区久ヶ原2丁目24番26号	03-3753-3415
	大田第2京浜ユーカーランド	東京都大田区仲池上2丁目8番14号	03-3753-1925
	方南町店	東京都杉並区和泉4丁目42番33号	03-3317-3191
	荻窪店	東京都杉並区上荻2丁目37番12号	03-3396-2151
	目黒碑文谷店	東京都目黒区碑文谷5丁目14番22号	03-3714-0101
	洗足店	東京都大田区上池台1丁目15番4号	03-3729-4151
	田園調布ユーカーランド	東京都大田区田園調布本町40番5号	03-3722-8817
	上北沢店	東京都世田谷区上北沢4丁目18番19号	03-3303-5211
	三鷹下連雀店	東京都三鷹市下連雀7丁目3番7号	0422-44-1141
	石神井店	東京都練馬区関町北5丁目8番11号	03-5991-9841
	成城店	東京都世田谷区成城3丁目21番7号	03-3749-1161
	稲城店	東京都稲城市東長沼1258番地4	0423-78-1745
	国領店	東京都調布市国領町2丁目23番地	0424-83-9171
	東府中店	東京都府中市若松町2丁目14番7号	042-363-7251
	福生店	東京都福生市加美平1丁目28番地9号	042-552-6211
	昭島中神店	東京都昭島市玉川町4丁目12番20号	042-544-9675
	多摩ニュータウン店	東京都多摩市乞田1335番地	042-371-7331
	八王子平岡店	東京都八王子市平岡町12番10号	0426-23-6281
青梅野上店	東京都青梅市野上町4丁目15番2号	0428-24-1281	
野猿街道店	東京都八王子市大塚771番地1	0426-77-1771	
八王子堀之内ユーカーランド	東京都八王子市堀之内3-31-6	0426-75-2811	
日野旭が丘店	東京都日野市旭が丘2丁目7番5号	042-584-5911	
町田滝の沢店	東京都町田市旭町2丁目8番地	042-726-2911	
町田滝の沢ユーカーランド	東京都町田市木曾東1-13-40	042-726-0541	
町田金森店	東京都町田市金森東2丁目4番23号	042-726-3271	
町田鶴川店	東京都町田市大蔵町374番地	042-734-1800	
みなみ野ポディーセンター	東京都八王子市七国1丁目30番3号	042-632-8550	
神奈川県	関内店	神奈川県横浜市中区扇町3丁目9番地の2	045-681-8501
	緑店	神奈川県横浜市区十日市場町873-1	045-982-6200
	荏田店	神奈川県横浜市都筑区大丸24	045-941-8051
	港北ニュータウン店	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南2-1-9	045-942-5539
	東名川崎店	神奈川県川崎市宮前区土橋6-10-3	044-870-3881
	中原店	神奈川県川崎市中原区下新城1丁目2番26号	044-797-0611
	鶴見川崎店	神奈川県横浜市鶴見区尻手2-2-20	045-580-5780
	港南台店	神奈川県横浜市港南区日野南1丁目1番20号	045-830-0211
	鍛冶ヶ谷店	神奈川県横浜市栄区鍛冶ヶ谷2丁目42番25号	045-897-3931
	淵野辺16号店	神奈川県相模原市中央区共和3丁目6番15号	042-751-6600
	あざみ野店	神奈川県横浜市都筑区あゆみが丘5番12	045-910-1431
	戸塚店	神奈川県横浜市戸塚区前田町79	045-822-2026

店舗一覽

株式会社関東マツダ

2022年4月現在

	店舗名	所在地	電話番号
埼 玉 県	和光アルカ店	埼玉県和光市白子2-16-20	048-468-1331
	大宮店	埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-345	048-641-3730
	桜木サービスセンター	埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-355	048-641-3799
	大宮土呂店	埼玉県さいたま市北区土呂町2-20-5	048-663-3995
	与野店	埼玉県さいたま市中央区新中里5-10-13	048-831-3671
	南浦和店	埼玉県さいたま市南区辻1-18-4	048-861-2401
	浦和東店	埼玉県さいたま市南区太田窪4-5-6	048-882-9241
	大宮南中丸店	埼玉県さいたま市見沼区南中丸311-1	048-689-9870
	戸田店	埼玉県戸田市新曽1795-1	048-446-1484
	川口店	埼玉県戸田市喜沢1-46-12	048-442-6151
	川口末広店	埼玉県川口市末広1-3-12	048-223-5191
	川口青木店	埼玉県川口市西青木4-6-27	048-251-1063
	蓮田店	埼玉県北足立郡伊奈町栄4-95	048-721-8221
	岩槻店	埼玉県さいたま市岩槻区加倉1-33-17	048-757-1951
	八潮店	埼玉県八潮市南川崎817-1	048-997-7181
	草加店	埼玉県草加市新善町446-1	048-946-1222
	越谷店	埼玉県越谷市大房932-1	048-978-3413
	浦和美園店	埼玉県さいたま市緑区美園5-49-11	048-812-6221
	鷺宮店	埼玉県久喜市西大輪1665-1	0480-57-3181
	春日部店	埼玉県春日部市緑町1-8-10	048-735-5201
	春日部ユーカーランド	埼玉県春日部市八丁目554-1	048-752-5204
	杉戸店	埼玉県北葛飾郡杉戸町大字本郷727-2	0480-37-4611
	朝霞店	埼玉県新座市野火止8-4-1	048-477-4155
	新座店	埼玉県新座市北野1-1-17	048-479-3911
	上福岡店	埼玉県川越市藤間563-3	049-245-7411
	川越店	埼玉県川越市松郷杉下町862-1	049-223-1410
	川越山田ユーカーランド	埼玉県川越市山田字東町1435-1	049-223-1411
	川越西店	埼玉県川越市大塚1-25-1	049-248-2811
	所沢西店	埼玉県所沢市上新井4-46-1	04-2922-8171
	所沢東店	埼玉県所沢市上新井5-77-3	04-2922-9151
	狭山笹井店	埼玉県狭山市笹井2-3-3	04-2952-5166
	狭山ユーカーランド	埼玉県狭山市氏根岸1-8-29	04-2900-2929
	狭山広瀬店	埼玉県狭山市広瀬2-17-3	04-2953-9751
	鶴ヶ島インター店	埼玉県鶴ヶ島市脚折町1-39-25	049-286-5353
	鶴ヶ島南店	埼玉県鶴ヶ島市脚折1520-2	049-285-6811
	桶川店	埼玉県桶川市末広1-4-43	048-771-1747
	秩父店	埼玉県秩父市大野原896-1	0494-22-0127
	東松山店	埼玉県東松山市柏崎字小原11-1	0493-22-2361
	本庄店	埼玉県本庄市東台5-3-15	0495-22-6345
	深谷店	埼玉県深谷市萱場127-1	048-571-2683
	籠原店	埼玉県熊谷市新堀25-1	048-532-8844
熊谷店	埼玉県熊谷市佐谷田字南砂原2093-1	048-521-3611	
北本店	埼玉県北本市宮内1-77	048-591-8500	
加須店	埼玉県加須市北小浜44-6	0480-62-0700	
大宮ボディセンター	埼玉県さいたま市北区吉野町2-8-6	048-666-7025	
群 馬 県	前橋店	群馬県前橋市天川大島町1-10-2	027-224-1121
	総社店	群馬県前橋市総社町総社2067	027-251-3811
	渋川店	群馬県渋川市金井771-4	0279-22-0333
	伊勢崎東店	群馬県伊勢崎市日乃出町706	0270-25-6811
	桐生かさかけ店	群馬県みどり市笠懸町阿佐見2819-1	0277-30-5131
	高崎店	群馬県高崎市緑町3-1-27	027-361-8265
	富岡店	群馬県富岡市曾木104-1	0274-63-2368
	藤岡店	群馬県藤岡市藤岡2126-2	0274-22-0241
	高前バイパス店	群馬県高崎市小八木町2040-7	027-363-5091
	倉賀野店	群馬県高崎市下之城町181-3	027-322-2701
	太田店	群馬県太田市飯塚町1630-1	0276-46-4594
	伊勢崎店	群馬県伊勢崎市田中島町1405-1	0270-23-5881
	前橋北店	群馬県前橋市関根町1-11-13	027-232-3353
	伊勢崎ボディセンター	群馬県伊勢崎市下蝕町192	0270-63-3911

環境取り組みの実施体制
株式会社関東マツダ エコアクション21環境経営システム概要図



環境方針

株式会社 関東マツダ

環 境 方 針

<基本理念>

株式会社 関東マツダは、自動車販売・整備などの全ての事業活動において自然との調和を図りながら、地球環境の保護と豊かな社会づくりに貢献します。

<環境保全への行動指針>

1. 環境に関する法規制を遵守します。
2. 限りある資源を大切にすため、省資源・省エネルギーに努めます。
3. お客様に環境対策車への代替提案を促進し、環境負荷の低減を推進します。
4. 使用済み自動車の適正処理、リサイクルを推進します。
5. お客様の車両の点検整備を的確にサポートし、公害防止、省エネルギーを推進します。
6. 循環型社会に向けて、廃棄物の削減・再使用・再利用活動を推進します。
7. 環境に配慮した製品の提供及びグリーン購入を推進します。
8. 環境改善目標を定め、継続的な環境改善活動を実践します。
9. 環境に関する社会の要請に積極的に耳を傾け、企業活動に反映させます。
10. 全従業員にこの環境方針を周知徹底するとともに、環境活動レポートを作成し、公表します。

付則

制定:平成20年 7月 1日
改正:平成22年 4月 1日
改正:平成22年 5月 1日
改正:平成27年 1月 1日
改正:令和 2年 4月 1日

令和 2年 4月 1日

株式会社 関東マツダ
代表取締役社長

島田 寛昭

環境目標(2021年度)

関東マツダの環境目標

- ・事業活動で生じる環境負荷の中で、特に影響の大きい 電力使用量、自動車燃料、都市ガス、LPガス、産業廃棄物排出量、水使用量の削減に取り組みます。
- ・自動車販売においては、環境未対応車から対応車への代替提案を促進し、環境負荷の低減を図ります。
- ・自動車整備においては、お客様車両の点検整備の的確なサポートや、ECOオイル、ECOタイヤ等の販売を促進し、公害防止、省エネルギーの推進に取り組みます。

1. 環境負荷の推移 ※全店舗合計

項目	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
二酸化炭素排出量	kg-CO2	8,917,696	8,427,325	7,523,140	7,488,660	
電力使用量	kWh	10,876,171	9,949,403	9,213,973	9,438,107	
化石燃料	ガソリン使用量	L	637,833	797,403	742,138	688,980
	軽油使用量	L	632,975	620,722	460,488	444,488
	灯油使用量	L	27,712	21,186	11,929	17,412
	都市ガス使用量	Nm ³	64,835	62,602	76,530	79,565
	LPガス使用量	kg	16,814	14,046	11,752	12,168
	産業廃棄物排出量	t	1,752	1,872	2,208	2,370
水使用量	m ³	84,949	84,448	78,573	79,712	

・購入電力の二酸化炭素排出係数は、排出量変化把握のため、平成29年度：昭和シェル(0.000476t-CO₂/kWh)及び平成29年度：東京電力(0.000462t-CO₂/kWh)を継続して使用しています。

・LPガスは1m³=2.07kgで算出

2. 環境目標 ※全店舗合計

1)環境負荷

項目	単位	基準年度実績 (2017年度)	単年度目標(=中期目標)	
			2021年度	2021年度
二酸化炭素排出量 (削減率)	kg-CO2	8,606,797	8,580,977 △0.3%	8,580,977 △0.3%
電力使用量 (削減率)	kWh	11,416,367	11,245,121 △1.5%	11,245,121 △1.5%
化石燃料	ガソリン使用量 (削減率)	784,734	843,589 +7.5%	843,589 +7.5%
	軽油使用量 (削減率)	626,975	673,998 +7.5%	673,998 +7.5%
	灯油使用量 (削減率)	36,786	36,786 △0.0%	36,786 △0.0%
	都市ガス使用量 (削減率)	61,362	60,994 △0.6%	60,994 △0.6%
	LPガス使用量 (削減率)	22,157	22,024 △0.6%	22,024 △0.6%
産業廃棄物排出量 (削減率)	t	2,065	2,065 △0.0%	2,065 △0.0%
水使用量 (削減率)	m ³	89,794	89,794 △0.0%	89,794 △0.0%

環境目標(2021年度)

2)販売・提供する製品及びサービス

項目	単位	基準年度実績 (2017年)	単年度目標(=中期目標)	中期目標最終年
			2021年度	2021年度
販売 * 環境対応車販売台数	台	32,852	30,910	30,910
整備 保守点検入庫台数 (* MSC・6・12ヶ月合計)	台	316,948	333,000	333,000

* SKYACTIV(マツダ環境技術)搭載車

* MSC: マツダセーフティーチェック

3. 次年度環境目標

1)環境負荷

項目	単位	基準年度実績 (2020年度)	単年度目標(=中期目標)	中期目標最終年
			2022年度	2024年度
二酸化炭素排出量 (削減率)	kg-CO2	7,523,140	7,658,557 +1.8%	7,929,390 +5.4%
電力使用量 (削減率)	kWh	9,213,973	9,352,183 +1.5%	9,628,602 +4.5%
化石燃料	ガソリン使用量 (削減率)	L	742,138 +2.5%	797,798 +7.5%
	軽油使用量 (削減率)	L	460,488 +2.0%	488,117 +6.0%
	灯油使用量 (削減率)	L	11,929 △0.0%	11,929 △0.0%
	都市ガス使用量 (削減率)	Nm ³	76,530 +1.5%	79,974 +4.5%
	LPガス使用量 (削減率)	kg	11,752 △0.2%	11,681 △0.6%
産業廃棄物排出量 (削減率)	t	2,208 +0.4%	2,217 +0.4%	2,234 +1.2%
水使用量 (削減率)	m ³	78,573 +2.5%	80,537 +2.5%	84,466 +7.5%

2)販売・提供する製品及びサービス

項目	単位	基準年度実績 (2020年)	単年度目標(=中期目標)	中期目標最終年
			2022年度	2024年度
販売 * 環境対応車販売台数	台	27,962	34,600	36,600
整備 保守点検入庫台数 (* MSC・6・12ヶ月合計)	台	300,501	305,000	315,000

* SKYACTIV(マツダ環境技術)搭載車

* MSC: マツダセーフティーチェック

4. 化学物質使用量の削減

- ・板金工場における塗装工程で使用する有機溶剤系洗い油(シンナー)削減に向け、廃シンナー再生機の導入を引き続き検討する。

環境活動計画(2021年度)

1. 二酸化炭素排出量の削減

1) 電力使用量の削減に向けた活動

- ① 不要な照明の消灯・節電の徹底を心掛ける
 - ・メジャーサイン終業時間(18:20)消灯の徹底(タイマーを消灯時間に設定する)
 - ・屋外展示場終業時間(18:20)時消灯の徹底(お客様の有無によって状況判断を行うこと)
 - ・退社時には、広告看板、事務所、工場の照明が消灯しているのか確認を徹底すること
 - ・昼休み・休憩時は事務所・工場等の照明は消灯する
 - ・使用時以外のトイレ・会議室・給湯室・更衣室・部品庫等は最後に使用した者が消灯すること
 - ・事務所照明の間引き点灯。
- ② 冷暖房の設定温度を管理する
 - ・事務所は冷房:28℃、暖房:20℃の温度設定の徹底。
 - * 2Fに事務所等のある店舗は、土日は電源を切る。
 - ・お客様スペースはお客様が不快にならない様に適温管理を行うこと
 - ・夏季のクールビズ期間の延長(基本5月~9月だが状況に応じて延長する)
- ③ エアコンフィルターの清掃
 - 定期的に業者へ依頼し良好な状態を保つ
 - * 安全の観点から店舗で無理な作業はしないこと
- ④ 待機電源オフの徹底
 - ・退社時に確認、特に定休日前日の終礼時に確認を行いましょ
- ⑤ カラーコピー機の原則使用禁止
 - ・不必要なカラーコピーを禁止し、電力、トナー使用量の削減に努めること
- ⑥ 整備工場における電気使用量の削減を意識する
 - ・整備作業の効率化を図り、整備リフトの不要な上げ下げをなくしましょう
 - ・工場内の高圧エアの配管やエアツールを適切に管理し、エアコンプレッサの稼働時間を減らす
 - ・整備入庫の平準化を図り、工場の稼働時間を短縮するよう努力する
- ⑦ 老朽化エアコンの入替えの促進
 - ・設置年数から効率の悪い老朽化エアコンをピックアップし、順次入替えを行う(管財GRで確認をして提案をする)
- ⑧ アースアワー/ライトダウンキャンペーンへの参加
 - ・全店舗でライトダウンキャンペーンに参加

2) 化石燃料使用量の削減に努める

- ① 自動車燃料(ガソリン・軽油)の使用量軽減を目指す
 - ・「エコドライブ10のすすめ」を実践し習慣化する。
 - ・サービス代車を燃費効率の良いSKYACTIVEエンジン車に入替える
 - <燃費向上策の実施>
 - ・社用車の空気圧、不要な荷物が積まれていないか、運行前にチェックを行うこと
 - ・ECOオイル交換、エアエレメント清掃交換を推奨していく
 - ・板金工場の車載車による車両引取り/納車ルートの効率化を図る。
- ② 灯油使用量の削減に努める
 - ・板金工場(伊勢崎BC)の乾燥炉使用の工程を工夫し、効率化を図る。
- ③ 都市ガス使用量の削減に努める
 - ・細かく使用状況をチェックして管理をする

環境活動計画(2021年度)

2. 産業廃棄物排出量の削減

- ① 産業廃棄物の適正処理を徹底し削減を図る
 - ・廃油、廃バッテリー、金属資源の外部販売による産廃排出量の削減を行う

<一般廃棄物削減の取り組み>

- ① 紙使用量の削減
 - ・両面・縮小コピーの活用推進
 - ・裏紙用紙(使用可能)のストックボックスを設置する
 - ・使用済みやミスコピー用紙の裏面を使用する(メモ用紙での活用など)
 - ・コピー使用後に「リセット」のボタンを押す習慣化の徹底
- ② 分別を徹底し一般ゴミの削減を推進
 - ・分類別に容器を設置しリサイクルの推進を図る
- ③ 詰め替え可能な製品を購入する
- ④ 電子マニフェストに移行し、紙媒体を削減した

3. 水使用量の削減

- ① 水使用量の把握、漏水の確認を行う
 - ・毎月、水道メーターの記録と漏水のチェック、使用量を把握することで意識の啓発を図る
- ② 水道の適正使用、無駄な使用をしない
 - ・水を流したままにしない、ストップノズル付ホースの使用
- ③ 節水型洗車アイテムの使用
 - ・省資源対応カーシャンプー(泡切れの早いもの)を使用。

4 自らが販売、提供する製品及びサービス

- ① 最新技術搭載車への早期代替提案を促進し、環境負荷の低減を推進する
 - ・お客様のニーズに合わせた提案を行い、マツダ独自の価値観を体感いただく。
- ② お客様の車両の点検整備を的確にサポートし、公害防止、省エネルギーを推進する
 - ・メンテナンスパック商品「パックdeメンテ」の販売促進
 - ・メンテナンスの確実な実施による環境負荷削減(省燃費の維持、公害防止)
 - ・法定点検、車検入庫を計画的に促進する
- ③ 省燃費エンジンオイルの販売促進
- ④ 省燃費タイヤの販売促進

環境活動の取組結果の評価

1. 2021年4月～2022年3月運用期間の実績(全店舗合計)

1)環境負荷

項目	単位	基準年実績 2017年	目標 削減率	前年値 2020年	目標値	実績 2021年	達成率	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO2	8,606,797	▲0.3%	7,523,140	8,580,977	7,488,660	112.7%	○
電力使用量	kWh	11,416,367	▲1.5%	9,213,973	11,245,121	9,438,107	116.1%	○
ガソリン使用量	L	784,734	+7.5%	742,138	843,589	688,980	118.3%	○
軽油使用量	L	626,975	+7.5%	460,488	673,998	444,488	134.1%	○
灯油使用量	L	36,786	▲0.0%	11,929	36,786	17,412	152.7%	○
都市ガス使用量	Nm ³	61,362	▲0.6%	76,530	60,994	79,565	69.6%	×
LPガス使用量	kg	22,157	▲0.6%	11,752	22,024	12,168	144.8%	○
※廃棄物排出量	t	2,065	▲0.0%	2,208	2,065	2,370	85.2%	×
水使用量	m ³	89,794	▲0.0%	78,573	89,794	79,712	111.2%	○

・購入電力の二酸化炭素排出係数は、排出量変化把握のため、平成29年度：昭和シェル(0.000476t-CO₂/kWh)及び平成29年度：東京電力(0.000462t-CO₂/kWh)を継続して使用しています。

・LPガスは1m³=2.07kgで算出

※廃棄物排出量については、基準年の一般廃棄物のデータが無い為、産業廃棄物のみの記載。

2)販売・提供する製品及びサービス

項目	単位	基準年実績	前年値	目標値	実績	達成率	評価
環境対応車販売台数	台	32,852	27,962	30,910	31,509	102%	○
保守点検在庫台数	台	316,948	300,501	333,000	300,620	90%	×

2. 取組結果の評価

1)二酸化炭素排出量の削減

①目標達成状況

・目標値対しては112%の達成。前年度に対しては9.9%の削減している

②目標達成要因

・店舗の建替えや老朽化している設備の修繕により、省エネルギーに配慮した店づくりを進めているため
 ・車両販売、保守整備在庫が未達成のため、これらに使用する光熱費、化石燃料が減少したため

* 各項目の達成、未達成要因については、項目毎に述べる。

環境活動の取組結果の評価

2)電力使用量の削減

①目標達成状況

- ・昨年度からは増加したが、目標値に対しては116%の達成
- ・昨年度に実施した時短営業の取り組み終了と、これまでの経費削減取り組みを踏襲した結果、達成に繋がった。

②来期以降の対応

- ・来期以降も店舗の修繕計画があり、使用量削減の対応をしていく。
- ・来期以降もLEDへの変更を進めていく。
- ・通年を通しての経費削減取り組みの継続実施。特に電力を多く使用する時季の節電を呼びかける。

3)ガソリン使用量の削減

①目標達成状況

- ・昨年度よりも減少し、目標値に対しては118%の達成
- ・車両販売台数が未達成のため、給油量が減少した。
- ・納車する際には最低限お客様に不快を与えない程度の給油を継続的に行っているため。

②来期以降の対応

- ・社員ひとり一人が、使用量削減に対する意識付けを行う。
- ・エコドライブ10を継続的に促進する。

4)軽油使用量の削減

①目標達成状況

- ・昨年度よりも減少し、目標値に対しては134%の達成
- ・ガソリンと同様に車両販売台数が未達成のため、給油量が減少した。
- ・ガソリン車と同様にお客様に不快を与えない程度の給油を継続的に行っているため。

②来期以降の対応

- ・ガソリンと同様に、社員ひとり一人が使用量削減に対する意識付けを行う。
- ・エコドライブ10を継続的に促進する。

5)灯油使用量の削減

①目標達成状況

- ・昨年度よりは増加しているが、目標値に対しては153%の達成。
- ・大宮BCの建て替えにより、使用量が大幅に削減できた。
- ・一部、暖房で使用している店舗もあるが、使用店舗の殆どがお客様車両の下回り等を洗浄するための洗車スチームで使用している。

②来期以降の対応

- ・板金工場の工程を工夫し効率化を継続的に図る。
- ・作業効率の良い入庫を推進する。

環境活動の取組結果の評価

6)都市ガス使用量の削減

①目標達成状況

- ・昨年度よりも増加傾向にあり、目標値に対しても約70%の未達。
- ・昨年度と比較して使用量が減少した店舗もあり、建て替えて都市ガスを使わなくなった店舗もあるが、昨年に続き大宮BCの使用量が増加し、未達となった。

②来期以降の対応

- ・エネルギー使用量の可視化データを活用して各店舗に使用量を意識してもらう

7)LPガス使用量の削減

①目標達成状況

- ・昨年度より増加しているが、目標値に対しては145%の削減し、大きく達成している
- ・大宮BCを都市ガスに変更したことに加え、各店舗の使用量が昨年度より減少したことで、目標を大きく達成できた。
- ・使用量の多い板金工場で業務効率の向上を考え、灯油と都市ガスの使用を使い分けた。

②来期以降の対応

- ・業務効率を考えた使用を心掛け、無理な使用にならないように配慮する。
- ・未使用時の給湯器電源オフを徹底し、削減意識を継続する。

8)水使用量の削減

①目標達成状況

- ・昨年度からは増加しているが、目標値に対しては111%の達成。
- ・省資源対応型の泡つや洗車(泡切れの良いもの)をお客様にお勧めしたため。
- ・電力使用量と同様に、経費削減取組みの成果が表れた。
- ・販売台数、在庫台数が減少したことによって使用量も減少した。

②来期以降の対応

- ・使用量の可視化データを活用して各店舗に使用量を意識してもらう
- ・展示場の清掃やデモカー、代車などの洗車を計画的に実施する様にして、ムダな水の使用を無くしていく。

9)産業廃棄物排出量の削減

①目標達成状況

- ・削減目標(基準年比100%)に対し、目標達成率は約85%となり、未達。
- ・対前年117%(335トン)の増となった。
- ・未達の要因は電子マニフェストを全体の95%に移行することにより、集計の精度が上がってきた。
- ・今まで一般廃棄物として処理していた可燃物等を分別の精度を上げることによって産業廃棄物として処理することにより、増加した。

②来期以降の対応

- ・廃棄物の分別の精度をより高くして、リサイクルとして処理を行い、環境負荷の軽減に努める。

<一般廃棄物削減の取り組み>

- ・順次、業務のペーパーレス化を推進し、紙ごみの削減に努めていく。

環境活動の取組結果の評価

10)販売・提供するサービスについて

①目標達成状況

1. 環境対応車販売台数

- ・マツダが販売する自動車は殆どの車種が環境対応車に変わってきた。
そのため、車両販売台数は目標には届かなかったが、環境対応車の割合は増加し、環境対応車販売台数としては、目標値に対し102%の達成となった。

2. 保守点検入庫台数

- ・保守点検入庫台数は前年度のほぼ横ばい、目標には未達。
- ・コロナウイルス感染症による罹患者や濃厚接触者増加により、作業員が減少したものの。

②来期以降の対応

- ・2022年度は販売計画達成に向け、車両販売に注力していく。
- ・また、使用過程車の適切な保守整備を推進することだけでなく、お客様が安心して保守整備をご依頼して頂けるように店舗の対応、入庫の平準化にも注力していく。
- ・お客様に提供する商品も、環境負荷低減に繋がっていることを意識しながら販売促進に努めていく。
- ・コロナ感染症対策をより一層徹底していく。

11)昨年度審査後の改善取組み

- ・第二種圧力容器の点検簿を作成したので展開する
- ・オイル吸着剤の変更指示をメールで展開していく

環境関連法規への違反・訴訟の有無

1. 環境関連法規等の遵守状況の確認、評価

環境関連法規	要求事項	評価
廃棄物処理法	・廃棄物の適正処理	○
自動車リサイクル法	・使用済自動車の適正処理	○
循環型社会形成推進基本法	・循環資源の適正な循環の利用	○
PRTR法	・特定化学物質の排出量/移動量の把握 ※第1種指定化学物質の年間取扱量1t以上の事業所は、届出対象	○
下水道法	・特定施設の届出 (自動式車両洗浄施設)	○
労働安全衛生規則	・有機溶剤作業主任者の選任及び掲示 ・乾燥設備作業主任者の選任及び掲示 ・アーク溶接特別教育	○
有機溶剤中毒予防規則	・6ヶ月毎の特殊健康診断の受診 ・取扱注意事項の掲示 ・排気装置等の設置 ・6ヶ月毎の作業環境測定の実施	○
特定化学物質障害予防規則	・特定化学物質作業受任者の選任及び掲示 ・特定化学物質作業従事記録の保管(30年間) ・アーク溶接装備のテスト、従事者の健康診断、事業場の換気	○
フロン排出抑制法	・エアコン全数の簡易点検 ・機器調査及び管理台帳の作成 ・容量7.5Kw以上のエアコンの定期点検の実施	○
水質汚濁防止法	・特定施設の届出 (自動式車両洗浄施設)	○
浄化槽法	・浄化槽設置の届出 ・保守点検・清掃機記録	○
騒音規制法	・特定施設の届出 (コンプレッサー)	○
振動規制法	・特定施設の届出 (コンプレッサー)	○
消防法	少量危険物の届出	○
エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)	・エネルギー管理統括者選任 ・エネルギー管理規格推進者選任 ・エネルギー使用量の把握・集計・届出 ・定期報告書、中長期計画書の提出	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器の適切な廃棄	○
小型家電リサイクル法	小型家電の適正処理	○
建設リサイクル法	・特定建設資材の分別解体、再資源化	○
プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(プラスチック資源循環法)	・排出を抑制する ・再資源化できるものは再資源化する ・再資源化できないものは熱回収を行う	○
東京都環境確保条例	・規制基準値の適用 ・自動車の使用に伴う大気の汚染等の防止	○
埼玉県生活環境保全条例		○
群馬県の生活環境の保全等に関する条例		○
横浜市生活環境の保全等に関する条例		○
川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例		○
相模原市環境基本条例		○

※環境関連法規については、環境法令遵守状況報告書を用いて1ヶ年毎に法令遵守状況を確認

2. 違反・訴訟の有無

環境関連法規の違反はなく、関係機関からの指摘も受けておりません。
また、同様に訴訟等についても、過去3年間1件もありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し結果表

会社名	株式会社関東マツダ
活動期間	2021年4月1日～2022年3月31日

評価者	代表取締役社長 島田 寛昭	実施日	2022年10月29日
-----	---------------	-----	-------------

全体評価・コメント (2021年度の取組状況と評価)

- 1) コロナに加え半導体不足による車両不足のため新車販売計画を変更。当初の販売計画台数から減少はしているが、保有構造改革、つながり構造改革を強化してお客様を増やすことに注力してきた。我々は関東マツダのミッション「マツダ車を通じ、常にお客様に安心・安全・快適で豊かなカーライフを提供し続けること」を大切にすれば、我々の使命を果たすことができ、エコへの貢献に繋がってくると考えている。
- 2) 前期(2020年度)、今期(2021年度)ともにコロナの影響で車両売上が目標を下回ったこともあり、電力等のエネルギー使用量の削減に起因した。来期(2022年度)は新型車の発売も予定されているため、より一層販売目標の達成を目指しながら平行して経費削減取組みを踏襲し、今期のエネルギー使用量を上回らないように努めていく。
- 3) 業務取組みを見直して、工数とごみの削減のために業務のペーパーレス化を推進。一部の業務をIT化に移行した。結果、工数と紙ごみの削減をすることができた。今後も業務のペーパーレス化を検討していく。

	見直し項目	変更の必要性	変更「有」の場合の指示事項
代表者による全体評価・見直し	1 環境方針	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	2 環境目標	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	3 環境活動計画・取組項目	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	4 実施体制	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	5 その他のシステム要素	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	